

入学式式辞

春の訪れと共に、新しい風となって高知工業高等専門学校に、ソーシャルデザイン工学科 7 期生として留学生 2 名を含む本科 1 年生 169 名、本科 3 年生留学生 3 名、本科 4 年生編入生 1 名、そして、専攻科 23 名の学生諸君が入学されました。在校生ならびに教職員一同、心から歓迎いたします。

今日の式典を何より楽しみにされてきた保護者のみなさまには心からお祝い申し上げます。

本校は、1963 年に 3 学科の高専として設立され、その後 4 学科体制となり、学科改組及び名称変更等を経て、平成 28 年度からソーシャルデザイン工学科 1 学科 5 コース制に学科再編を行いました。

その目的は、第 4 次産業革命により向かおうとしている新たな社会、Society5.0 の社会のニーズに対応するためであり、産業構造及び就業構造が大きく変わると言われている時代に対応するためです。高専は、創立当時から日本の高度成長期を支え、これまで産業界から高く評価されてきましたが、これからは、さらに高度な資質を備えたエンジニアが求められています。

今年の 2 月、政府の『総合科学技術イノベーション会議』において、Society5.0 に向けた高等教育機関の人材育成として、ダブルメジャーの促進を挙げています。ダブルメジャーというのは、複数の専門を同時に主専攻(メジャー)として学ぶものです。これは、本校が学科再編のとき、6 年前から取り組んでいることです。本校では、ハイブリッド型人材と呼んでいます。

工学を学ぶ上で常に意識してほしいことは、『工学は社会を幸せにするためにある』という工学の存在意義です。

この工学の意義を在学中から実践するため、社会実装教育をおこなっています。それは、『社会の課題に対し、異なる専門の学生がグループを組み、工学的視点を持って、チームで課題を解決する』という教育です。

この取り組みを通して、

- ・課題を解決する中で、学んだことを使う力を養い、
- ・グループ内で議論する中で、考える力を鍛え、
- ・地域コミュニティの方々に説明する中で、話す力と聞く力を磨いています。

社会に出て必要な力を高専在学中から実践しています。

このような教育により、『考える力があり、話す力のある、専門はハイブリッドな人材』を育成し、社会に輩出しています。

みなさんは3年生でコースに分かれるまで、いろいろな専門を学びますので、複数の専門を身につける機会が多いと思っています。ぜひ、いろいろなことにチャレンジしてください。

今年も、高知高専で学ぶ5名の留学生をお迎えしました。遠く祖国を離れ、言葉も生活習慣も異なる日本で勉強するのは大変なことだと思いますが、高知の生活になじみ、日本人学生や高知の人々との交流を深めてください。そして、母国の発展に貢献できるエンジニアに成長されることを期待しています。

専攻科入学のみなさん、専攻科は2年の課程を修了後、大学卒業と同じ“学士”の学位が与えられます。2年間は決して長い時間ではありませんが、修了時には立派な学位論文が仕上がるように努力して下さい。

若いみなさんには大きな可能性があります。みなさんの力で次の時代が作られます。失敗を恐れず、何度でもチャレンジして壁を乗り越え、成長してください。

次にお願いしたいのは、たくさんの友達を作ってください、ということです。一人一人は価値観も考え方も違います。人と接することを避けるようになると、自分と似た考え方の人たちと固まるようになります。それでは自分の枠を広げることにはできません。いろいろな考えに触れる中で自分の幅を広げていてもらいたいと思います。

また、技術の中で情報技術は文系・理系を問わず、社会の共通の基礎技術となっています。興味を持って学べば必ず君たちの血と肉となり、将来のあなたをさらに大きくするものなので、積極的に取り組んでください。

現在の Society4.0(情報社会)の次にくる Society5.0 は超スマート社会と呼ばれ、情報をさらに高度に扱う社会になりますので、セキュリティが大事になります。この社会は、セキュリティの専門家に任せればいいという社会でなく、我々一人一人がセキュリティの知識と技術を持たねばならない社会です。みなさんは、サイバーセキュリティ教育にも積極的に取り組んでください。

最後に、課外活動について話をします。課外活動は青年期における健全な人間

形成に非常に有用であると言われています。本校にもたくさんのクラブがあり、自分に合ったクラブが見つかると思います。ぜひ活動に参加して充実した学生生活を送ってください。

活動の中には、高専と名のつく有名なものがたくさんあります。高専ロボコン(ロボット・コンテスト)、高専プロコン(プログラミング・コンテスト)、英語プレコン(プレゼンテーション・コンテスト)、高専 DCON(ディープラーニング・コンテスト)、高専防災コンテスト、そしてデザイン力を競う高専デザコン(デザイン・コンペティション)などです。さらに、昨年度より高専 GCON(高専 Girls SDGs×Technology Contest)ができました。これらの大会に、みなさんもチャレンジしてください。

高専は、自ら取り組む人にとっては非常にやりがいのある学校です。いろいろなことに挑戦し、あなたの夢を実現させてください。

この場を借りて新型コロナウイルス感染症への対応の心掛けをお願いしたいと思います。それは、「自分の安全が他人も守り、他人の安全が自分も守る」という考えです。自分が気を付けることが、他の人のためにもなり、他の人が安全になることで自分の安全も強固になるというものです。マスク、手洗い、手指消毒など、私たち一人一人が心掛けましょう。

自然あふれるこの高知の地で、みなさんがたくましく学生生活を送り、一生の友となる友人を多く作られることを願って式辞とします。

令和4年4月3日

高知工業高等専門学校長
井瀬 潔